# 公会計事業別財務書類分析シート

事業類型: 固定資産整備型

決算対象年度 : 令和05年度 対象年月: 令和 6年 3月

一般会計

県土整備局 局

所属 : 県土整備局砂防課 (直通 045-210-6511)

公会計事業 : 砂防費

主な事業内容 ・砂防施設の整備等を行う。

・急傾斜地崩壊防止施設の整備等を行う。 ・地すべり防止施設の整備等を行う。 ・土砂災害警戒区域等の指定を行う。

2 行政コスト及び純資産変動計算書

(単位:千円)

2 11以コペト及い代貝庄及刧口弁官				\ ·	<del>+</del>   4 ·       1 /
科目	R03決算	R04決算	R05決算	R03-R04増減率	R04-R05増減率
経常費用	9, 935, 605	10, 291, 424	11, 362, 925	3. 6%	10. 4%
人件費	811, 066	959, 174	1, 043, 828	18.3%	8. 8%
物件費等 ※	8, 941, 458	9, 193, 089	10, 195, 156	2. 8%	10.9%
物件費	1, 064, 416	1, 255, 379	2, 375, 937	17. 9%	89. 3%
維持補修費	278, 301	491, 144	522, 257	76.5%	6. 3%
減価償却費	7, 543, 879	7, 401, 456	7, 276, 451	△1.9%	△1.7%
移転費用 ※	27, 245	9, 778	6, 706	△64. 1%	△31.4%
補助金等	191	288	249	50.8%	△13.5%
社会保障給付	-	_	-	-	_
経常収益	3, 859	3, 875	4, 113	0.4%	6. 1%
使用料・手数料	3, 859	3, 875	4, 113	0.4%	6. 1%
その他	-	_	-	-	-
純経常行政コスト(経常収益-経常費用) ①	△ 9, 931, 745	△ 10, 287, 549	△ 11, 358, 812	△3.6%	△10.4%
臨時損失	6, 031	1, 339	_	△77. 8%	皆減
臨時利益	-	_	-	-	-
純行政コスト(①-臨時損失+臨時利益)	△ 9, 937, 776	△ 10, 288, 888	△ 11, 358, 812	△3.5%	△10.4%
財源	4, 181, 094	3, 916, 928	4, 231, 672	△6.3%	8. 0%
税収等	1, 273, 941	1, 134, 064	1, 152, 051	△11.0%	1.6%
国等補助金	2, 907, 153	2, 782, 865	3, 079, 620	△4. 3%	10. 7%
本年度差額	△ 5, 756, 682	△ 6, 371, 960	△ 7, 127, 140	△10. 7%	△11.9%
一般財源充当調整額	5, 553, 310	7, 590, 444	7, 110, 376	36. 7%	△6.3%

(注) ※印の下位科目は、内訳を抜粋しているため、合計が一致しない場合がある。

3 貸借対照表 (単位·千円)

3 貝旧別照衣						\ <del>+</del>	凶、十口/
科目	R04決算	R05決算	増減率	科目	R04決算	R05決算	増減率
【資産の部】				【負債の部】			
固定資産	164, 348, 653	164, 393, 680	0.0%	固定負債	45, 885, 957	45, 420, 140	△1.0%
有形固定資産	164, 318, 277	164, 370, 204	0.0%	県債	45, 425, 231	44, 911, 531	△1.1%
事業用資産	5, 296	5, 593	5. 6%	長期未払金	-	-	-
土地	2	2	0.0%	退職手当引当金	460, 726	508, 609	10.4%
建物	_	-	-	損失補償等引当金	-	-	-
建物減価償却累計額	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
工作物	190	190	0.0%	流動負債	2, 762, 037	2, 329, 810	△15.6%
工作物減価償却累計額	△ 190	△ 190	0.0%	県債	2, 697, 680	2, 258, 437	△16.3%
その他		-	-	未払金	-	-	-
建設仮勘定	5, 294	5, 591	5. 6%	賞与等引当金	64, 357	71, 373	10. 9%
インフラ資産	164, 312, 153	164, 364, 036	0.0%	預り金	-	-	-
土地	282, 248	282, 248	0.0%	その他流動負債	-	-	-
建物	-	-	-				
建物減価償却累計額	-	-	-				
工作物	447, 791, 476	448, 680, 473	0. 2%				
工作物減価償却累計額	△ 313, 899, 535	△ 321, 168, 837	2. 3%				
その他	-	-	-				
建設仮勘定	30, 137, 964	36, 570, 151	21. 3%				
物品	827	575	△30.5%				
無形固定資産	26, 870	19, 973	△25.7%				
投資その他の資産	3, 506	3, 503	△0.1%	負債合計	48, 647, 994	47, 749, 950	△1.8%
流動資産				純資産合計	115, 700, 659	116, 643, 730	0. 8%
資産合計	164, 348, 653	164, 393, 680	0.0%	負債及び純資産合計	164, 348, 653	164, 393, 680	0.0%

<sup>(</sup>注) 負債の部における未払費用、前受金、前受費用は、その他流動負債に含む。

## ① 行政コスト計算書及び純資産変動計算書(経常費用の経年比較)

主な増減(R04-R05の比較)は、物件費が 11.2 億円 (89.3 %)増加しています。要因としては、土砂災害防止法の 5 年毎に実施する基礎調査 業務を実施しているためです。

RO5決算の内訳は、工作物が 1,275.1 億円で、資産の 77.6 %を占めています。そのほか、土地が 2.8 億円、建設仮勘定は 365.8 億円となって います。

# ③ 貸借対照表(負債の部)

R05決算の内訳は、県債が 471.7 億円で、負債の 98.8 %、退職手当引当金が 5.1 億円で 1.1 %を占めています。

### ④ 貸借対照表(純資産合計)

RO5決算では、資産合計 1,643.9 億円から負債合計 477.5 億円を差し引いた 1,166.4 億円が純資産合計となり、純資産比率は(純資産合計/資 産合計) 71.0 %です。

# ⑤ 貸借対照表(資産の経年比較)

宝な増減(RO4-RO5の比較)は、インフラ資産の建設仮勘定が 64.3 億円 (21.3 %)増加しています。要因としては、国の「防災・減災・国土強靱化のための5か年加速化対策」に伴う整備を実施したためです。

- (注1) ②の分析のうち「建物」「工作物」「建設仮勘定」は、事業用資産及びインフラ資産を合算した上で、それぞれ減価償却累計額がある場合はその金額を
- 在際しています。 (注2)③の分析のうち、「県債」は、固定負債と流動負債を合算した金額です。 (注3)他の公会計事業で保有する財産や、国、市町村が保有する財産を整備・修繕するために発行した「県債」や「人件費(退職手当引当金等)」が計上され ていることなどにより、資産の計上がない、純資産合計がマイナスとなる場合があります。